

令和元年度指定管理運営業務評価票

施設名称：大阪府中央卸売市場	指定管理者：大阪府中央卸売市場管理センター株式会社	指定期間：令和元年4月1日～令和2年3月31日	所管課：環境農林水産部 中央卸売市場
----------------	---------------------------	-------------------------	--------------------

評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言
			S～C		S～C	
I 提案の履行状況に関する項目 (1) 施設の設置目的及び管理運営方針	<ul style="list-style-type: none"> ●施設の設置目的に沿った運営 ●管理運営の効率化と迅速な対応 ●法令遵守の徹底と危機管理への対応 ●外注計画に基づく業務の発注 ●市場の生鮮物流拠点機能の強化のため、荷捌きスペースの拡充などが図られているか 	<p>●施設の設置目的に沿った運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 安心・安全で新鮮な生鮮食料品を安定的に供給する公共的使命を果たせるよう365日、24時間体制で適正に管理運営業務を行っている。 ▶ また、卸・仲卸・関連事業者等の市場関係者が公共的使命を意識しながら市場業務に従事するよう市場関係者のトップで構成される「常駐代表者会議」において啓発・指導するとともに、市場に関する情報や課題を共有、審議し、諸課題の迅速な解決を図っている。 ▶ 更に、毎月発行されている「市場だより」において、同会議での審議内容等を全従業員に向けて発信し、トップから担当者まで市場関係者が一体となって施設の設置目的に沿った市場業務を行っている。 <p>●管理運営の効率化と迅速な対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 民間のノウハウを十分に発揮し、少数精鋭の社員で、効率的な管理運営を行うことによりサービス水準の向上を図るとともに、大幅にコストを削減している。 ▶ 特に、委託業務については、各業者との粘り強い個別交渉により、品質の向上を図るとともに大幅に経費の削減を図っている。 ▶ 市場の特性として大量の電力の消費を余儀なくされ、これが場内業者の大きな負担となっていることから、電力供給業者との粘り強い交渉によりH27年11月には、基本電力需給契約を見直し(▲1,060万円/年、▲17.7%)、また、H29年7月から新電力に変更(▲6,100万円/年、▲34.6%)することにより電気料金を大幅に削減し、場内事業者の負担軽減を実現した。今年度も、引き続き同条件での契約を継続している。 ▶ 使用許可や緊急修繕等に即時対応するなど場内事業者等の業務に支障がないよう常にスピード感をもって現場最優先の迅速な事務処理を行っている。また、社員が毎早朝場内をラウンドし、安全確保を維持する上で緊急に修繕を必要とする危険箇所等の把握や市場関係者の生の声を聞き、管理運営業務に反映させている。 <p>●法令遵守の徹底と危機管理への対応</p> <p>○法令遵守</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 公の施設としての市場の管理運営業務を担っていることから、全従業員が法令はもとより就業規則・社内規程等の基本的なルールを遵守し、公正に業務を遂行するよう努めている。 ▶ また、法令遵守のみならず、企業としての社会的責任を果たすよう常にコンプライアンス意識をもって行動している。 ▶ 社員の健康を確保するため、労働安全衛生法に基づく健康診断のほかインフルエンザ等の予防接種を受けさせ、健診結果に基づき精密検査等を受診するよう指導している。 ▶ 更に、社員が過重労働にならないようタイムカードを随時チェックし、労働時間の適正管理を行っている。 ▶ 管理運営業務を実施するに当たって、法令上の疑義が発生した場合、顧問弁護士によるリーガルチェックを行い、会計処理に当たっては、顧問税理士のアドバイスを受けながら法令遵守に万全を期している。 	S	<p>●施設の設置目的に沿った運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 中央卸売市場の果たすべき機能に支障が生じないよう、適切な施設・設備管理、警備体制を整え事件・事故の発生防止に努め、施設の設置目的に沿った管理運営を行っている。 ▶ 毎月開催される常駐代表者会議において、業務の実績及び今後の取組予定を報告。場内事業者の意見を聴取することで、良好な協力関係を築き、場内一丸となって施設の設置目的に沿った管理運営業務を実現している。 <p>●管理運営の効率化と迅速な対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 従前より電気料金等の維持費や業務委託契約の見直しなど、管理コストの削減に積極的に取り組み、提案予算から大幅なコスト削減を実現している。 ▶ 特に電気料金については、基本電力需給契約の見直しや新電力への変更により大幅なコスト削減を実現しており、今年度においても不要な契約内容を見直すなど継続的な対応を行っている。 ▶ 施設・設備の修繕等についても、場内事業者のニーズに応え、民間ならではのスピード感で迅速な対応を行っている。 <p>●法令遵守の徹底と危機管理への対応</p> <p>○法令遵守</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 法令遵守や就業規則等について社員への周知や、健康診断等の実施など、労働環境の整備に努めるとともに、顧問弁護士や公認会計士に随時相談するなど、管理運営を適切に実施している。 ▶ 外部団体が主催する人権研修や業務に関連する研修に社員を参加させるなど、公の施設を管理する指定管理者としての資質向上に努めている。 ▶ 地元の人権推進企業連絡会と連携した街頭キャンペーンなどの社会貢献活動により、企業の社会的責任を果たしている。 	S	

		<p>▶ 社員のコンプライアンス意識や社員の資質の向上を図るため人権問題を始め業務に関連する外部研修に積極的に参加させている。 【研修実績】 1人当たり 4.0回参加 (4-12月実績) 16回参加(延べ20人) (1-3月見込み) 5回参加(延べ8人)</p> <p>▶ 茨木地区人権推進企業連絡会と連携し、就職差別撤廃のため街頭キャンペーンを行うなど企業としての社会的責任を発揮している。</p> <p>○危機管理</p> <p>▶ 危機事象が発生した場合又は発生する恐れがある場合に、社員や場内関係者の生命、身体、財産等への被害を防止・軽減するため緊急連絡体制やマニュアルを整備し、これに基づき必要に応じ昼夜を問わず直ちに出勤し、適正に対応している。 特に、築42年が経過し、施設設備の老朽化が著しく、設備管理業務が重要になってきていることから、事故等が発生した場合、直に対応できるよう現場の体制の充実を図っている。</p> <p>▶ 火災発生時における市場業務従事者の技術の向上と防災意識の高揚を図るとともに各事業体の相互協力体制の強化を図るため、茨木市消防本部の協力を得て毎年消防・防災訓練を実施している。 また、消防法に基づく防火管理者、防災管理者及び自衛消防業務に係る資格を複数社員に取得させ、その都度再講習を受講させるなど状況に応じた適切な対応ができるよう努めている。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 防火管理者：3名 防災管理者：3名 自衛消防業務講習受講者(統括管理者)：4名 </div> <p>●外注計画に基づく業務の発注</p> <p>▶ 自ら実施するよりも外注の方が経済性・専門性等においてより優れた成果が期待できる業務については、当初の外注計画に基づいて発注し、新規に外注する場合も業務契約に基づき、必要性等について府の事前承認を得た上で適正に発注している。</p> <p>▶ 外注した業務が契約どおり適正に履行されているかどうかを検証するため日報や月報を提出させるとともに、適宜現場での実施検証を行っている。</p> <p>●市場の生鮮物流拠点機能の強化のため、荷捌きスペースの拡充などが図られているか</p> <p>▶ 2階プラットフォームの空スペースを活用し、青果仲卸業者が自らの費用で荷捌場兼保冷施設を整備し荷捌きスペースの確保を図っている(H27.6～)。</p> <p>▶ 2階プラットフォームの車道の一部について利用時間帯を指定し、量販店向けの荷捌きスペースの確保を図っている(H24.7月～)。</p> <p>▶ 買出人専用駐車場について、買出人の利便性を損なわないよう配慮しつつ、配送業者毎に大型トラックの利用時間を割り当て荷捌作業の効率化を図っている(H26.12～)。</p> <p>▶ 青果大通りに区画ラインを引き、産地からの配送トラックの動線の確保を図っている(H29.11～)。</p> <p>▶ 交通の結節点に位置するという魅力的な立地条件と広大な敷地を有する優位性を活かし、荷捌場の拡充も含めた産地と市場間の中継・転送拠点としてのハブ化を目指した検討を進めており、来年度中に策定する予定の「市場施設等整備構想」において、重点課題として盛り込んでいくこととしている。</p>	<p>○危機管理</p> <p>▶ 危機事象が発生した場合に、迅速・的確な対応がとれるよう緊急連絡体制(管理C、府、警備責任者、電気室責任者、警察、消防、関電、大阪ガス、病院)を整え、火災発生時マニュアル及び地震発生時マニュアルに基づき適正に対応している。</p> <p>▶ 茨木市消防本部の協力を得て消防・防災訓練を毎年行うことや消防法に基づく資格を社員に取得させることにより、災害発生時に適切な対応ができる体制を整えている。</p> <p>●外注計画に基づく業務の発注</p> <p>▶ 警備、清掃、設備管理など、経済性・専門性の観点から再委託により優れた成果が期待できる分野では、外注計画や府への事前協議に基づき業務が発注されている。 また、その履行確認も適正に実施されている。</p> <p>●市場の生鮮物流拠点機能の強化のため、荷捌きスペースの拡充などが図られているか</p> <p>▶ 空スペースの有効活用や荷捌きスペース確保のためのルール作りについて、場内事業者と協議を行い、積極的に推進している。</p> <p>▶ 当市場の立地条件などの優位性を活かし、荷捌場の拡充も含めた産地と市場間の中継・転送拠点としてのハブ化を目指した検討を進めており、来年度中に策定予定の「市場施設等整備構想」において、重点課題として盛り込んでいくなど、積極的に取り組んでいる。</p>	
--	--	--	---	--

			<p>▶ なお、喫緊の課題として産地から強い要望がなされている産地輸送トラックの荷下ろし、待ち時間の効率化を図るため、青果側場内外周道路の導線の変更等により、そのスペースの確保に向けた検討を進めている。</p>			
(2) 平等な利用を図るための具体的手法・効果	<p>●施設の使用許可は、公平公正に行われているか</p> <p>●施設使用の不適切な使用に対する是正指導の強化等により、市場内スペースの有効活用が図られているか</p>	<p>●施設の使用許可は、公平公正に行われているか</p> <p>▶ 使用許可にあたっては、関係法令及び「大阪府中央卸売市場施設の使用許可基準」に基づき公平公正に行っている。</p> <p>▶ 空き施設や空区画が発生した場合の利用者の選定については、仲卸組合と連携しながら公募を行い、複数の希望者があれば抽選によって選定するなど手続過程の透明性、公平性を確保している。</p> <p>本年度は、場内業者のニーズを踏まえ、水産エリアにおける関連店舗を加工場に転用することとしたが、入居者の募集に当たっては、公募を行った上、公正な選定を行った。</p> <p>●施設使用の不適切な使用に対する是正指導の強化等により、市場内スペースの有効活用が図られているか</p> <p>▶ 不法占有等を未然に防止するため日々場内ラウンドを行い、不適正な使用があれば、その都度、関係者に対して注意指導や事情聴取を行うなど是正指導を行っている。</p> <p>▶ 特に悪質なケースについては、常駐代表者会議の週上に載せ、合意形成を図りながら、文書による警告や法的措置も含めて厳正に対処している。</p> <p>▶ 必要に応じてガードレールやポストコーン等を設置するなど物理的な手法により適正使用を図っている。</p> <p>▶ 大阪府の承認のもと、不法占有されていた区域を新たに有料駐車場として整備し、有償で借り受けるよう業者を指導している。</p> <p>▶ これらの是正指導の結果、生み出されたスペースを新たな利用に繋げ利用料金の増収を図っている。</p> <p>▶ 青果仲卸1業者について所謂「夜逃げ」の状態が続いているため、当該店舗及び事務所を明け渡し、原状回復するよう法的手続きを進めている。</p> <p>▶ 利用料金等の滞納は、収入減のみならず不平等を発生させることから、滞納が生じないよう振替不能が発生した場合、直ちに事業所に出向き、催告を行うなど粘り強い交渉を行うなど民間ならではの徹底した債権管理を行っている。</p> <p>これらの取り組みの結果、指定管理者制度スタート以降滞納ゼロの状況を維持している。</p>	S	<p>●施設の使用許可は、公平公正に行われているか</p> <p>▶ 関係法令等に基づき、公平公正に使用許可を行っている。</p> <p>▶ 空き施設は、その都度公募により業者を募っており、公平公正に使用許可を行っている。</p> <p>▶ 本年度の関連商品売場空き店舗における水産加工の利用者選定についても、公募を行った上、公平公正に選定を行っていた。</p> <p>●施設使用の不適切な使用に対する是正指導の強化等により、市場内スペースの有効活用が図られているか</p> <p>▶ 施設の不適正な使用や場内ルール違反者に対しては、口頭による是正指導や文書による警告などで厳正に対処している。また、必要に応じて物理的な手法により適正使用に導くとともに、場内ルールの徹底と意識向上に努めている。</p> <p>▶ 厳正な対処により生じた新たなスペースを新規利用させることで、積極的に収入確保にも努めている。</p> <p>▶ 利用料金未納が発生すれば、直ちに事業者と面談し状況確認するなど、債権管理を徹底して行い、利用料金等の滞納は発生していない。</p> <p>▶ 「夜逃げ」により音信不通となっている、青果仲卸の1業者が利用していた店舗及び事務所の活用に向けて、顧問弁護士に相談の上、法的手続きを進めるなど、迅速に対応している。</p>	S	
(3) 利用者の増加を図るための具体的手法・効果	<p>●施設の稼働率を向上し、空き施設の解消を図るための工夫が行われているか</p> <p>●府市場の果たしている役割が府民に理解されるよう市場のPRを実施しているか</p>	<p>●施設の稼働率を向上し、空き施設の解消を図るための工夫が行われているか</p> <p>○売場及び事務所</p> <p>▶ 評価委員会の指摘・提言を受け、空き施設の解消を図るため各施設の空き状況や参入可能な業種、条件等を明確にするなど入居者募集のホームページを改善した。</p> <p>▶ 空き施設の解消を図るため、事業活動からみて現状の店舗のスペースでは手狭となっている仲卸業者や通路に荷を置いている業者に対して、空店舗を利用するよう個別に働きかけている。</p> <p>▶ セリ場や共有スペースを不適正に使用している業者を個別指導し、退去させることにより空店舗への利用を誘導している。</p> <p>▶ これらの取り組みの結果、令和元年12月末における仲卸店舗稼働率は96.2%、仲卸事務所稼働率は77.1%となり、仲卸店舗は目標値を達成できたが、仲卸事務所については達成できなかった。</p>	A	<p>●施設の稼働率を向上し、空き施設の解消を図るための工夫が行われているか</p> <p>○売場及び事務所</p> <p>▶ 仲卸業者に対する個別の働きかけに加え、昨年度の評価委員会において、指摘・提言を受けたホームページの入居者募集項目の充実など、空き施設の解消に努めている。</p> <p>▶ 共有スペースを不適正に使用している業者については個別指導し、共有スペースから退去させるとともに、空き店舗等の利用を促している。</p> <p>▶ これらの取り組みにより、仲卸店舗稼働率は昨年度未達成となっていたが、今年度は96.2%と目標値を達成、仲卸事務所については、わずかに未達成となっているが一定の成果を挙げている。引</p>	A	

		<p>このため、引き続き、ホームページ等を活用し、新規参入者の利用促進を図るなど空き施設の解消を図るための取り組みを強化する。</p> <p>【目標稼働率】(H30 年度実績) 仲卸店舗 96.0%(94.8%)、仲卸事務所 80.0%(77.1%)</p> <p>【4-12 月実績】(達成率) 仲卸店舗 96.2%(100.2%)、仲卸事務所 77.1%(96.4%)</p> <p>○駐車場</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 駐車区画外での不法駐車は発見の都度場内アナウンスや警告書の貼付により指導を行い、有料区画へ誘導を行っている。 ▶ 有料駐車場については、契約外の車が駐車できないようカラーコーン等を設置することにより有料空き区画への新規利用に繋げている。また、駐車区画の幅を拡幅し(2.3m→2.5m)利用者のサービスの向上を図っている。 ▶ 水産大通り西出入口前北側歩道を有料大型駐車場区画として用途変更する改修工事を実施し、有効活用を図った。 <p>●府市場の果たしている役割が府民に理解されるよう市場の PR を実施しているか</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 市場見学者の拡大を通じて市場 PR を図るため、ホームページ等で積極的に周知に努めている。 <p>○小学校社会見学</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 令和元年度の小学校社会見学者(見込)は、31 校、2,844 人で、ホームページの活用等により回数及び見学者数ともに目標値を大幅に上回る見込みである。 <p>【社会見学目標者数】(H30 年度実績) 2,300 人(1,714 人)</p> <p>【R1 年度見込数】(達成率) 2,844 人(123.7%)</p> <p>○一般見学</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 評価委員会の提言を受け、指定管理者制度導入前には実施されていなかった一般府民や外国人等を対象にした見学会も積極的に実施している。 この結果、令和元年度の一般見学者(見込)は、22 件、347 人となり、社会見学同様目標値を上回る見込みである。 <p>【一般見学目標者数】(H30 年度実績) 300 人(620 人)</p> <p>【R1 年度見込数】(達成率) 347 人(115.7%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 安全、新鮮、良質な生鮮食料品を安価で提供することにより市場の機能や役割が消費者に理解されるよう「市場開放デー」を毎年実施しているが、来場者のアンケート調査結果も踏まえより充実した内容になるように努めてきた結果、本年度は、昨年度を上回る 3 万人強の来場者があり、多大の成果を収めた。 管理センターは開催に関する主導的な役割を果たすとともにこど 	<p>引き続き業者への働きかけ等を通じて稼働率の改善に努めてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ S 評価に向けた今後の取り組みとして、目標稼働率に対して未達成となっている仲卸売場の附帯事務所について、仲卸業者に限らず運送業者などの市場業務に関連する業者への利用を働き掛けること等により、目標達成を目指していただきたい。 <p>○駐車場</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 不法駐車防止のためのカラーコーン設置、駐車区画の拡幅による利便性向上など、駐車場の秩序維持と有料空き区画への新規利用を誘導している。 ▶ 利用者が少ない歩道を有料駐車場区画へ用途変更することで、施設の有効活用を図っている。 <p>●府市場の果たしている役割が府民に理解されるよう市場の PR を実施しているか</p> <p>○小学校社会見学</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 昨年度は、地震と台風の影響によるキャンセルにより目標値未達成となったが、今年度はホームページの活用等により回数及び見学者数共に大きく改善し、目標値を大幅に上回る見込みとなっている。 <p>○一般見学</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 連携大学の学生、外国市場関係者等の見学・視察を臨機応変に受入れ、様々な機会を捉え市場 PR を行っている。今年度は海外団体の視察や、大学研究室の見学受入れなど、一般見学者も目標値を大きく上回り、より幅広い方に市場を PR できた。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 「市場開放デー」への積極的な取り組みによる来場者の増加や、こども向けイベントの取り組みにより、市場の PR や食育の啓発普及に貢献した。 ▶ 年間を通して、場内事業者や大学生等と連携し、「お魚出前料理教室」や量販店における「市場直売セール」、オリジナルレシピによる販促活 	
--	--	---	---	--

			<p>も向けのイベントを通じて市場機能の PR や食育の啓発普及に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 水産仲卸組合と連携し、食育活動の一環として実施している「お魚出前料理教室」を通じて市場機能の積極的な PR に努めている。 ▶ 事業連携大学との事業を通じて市場機能の積極的な PR に努めている。 <p>▶ 百貨店や量販店を中心に展開している市場直販セールや販促活動において市場広報大使「せりちゃん」を積極的に出演させるとともに、販促グッズを配布することにより市場の知名度や市場機能の PR に努めている。</p> <p>【せりちゃん出演回数(4-12月)】 11回</p>	<p>動など、多種多彩な催しの開催により市場の PR や食育の普及啓発に大きく貢献している。</p> <p>▶ 市場キャラクター「せりちゃん」を上記イベントなどに積極的に出演させるとともに、市場グッズの配布を行うことで、市場の PR に努めている。</p>		
(4) サービスの向上を図るための具体的手法・効果	<p>●市場の活性化を図るための取組みが計画に基づき実施されているか</p> <p>●市場設備のコールドチェーン化を推進する取組をしているか</p>	<p>●市場の活性化を図るための取組みが計画に基づき実施されているか</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 競争力のある魅力あふれた市場づくりを目指し、「魅力ある市場づくり」、「川上・川下との連携」、「情報発信機能の強化」「指定管理者制度の活用」の4つのジャンルにおいて活性化に繋がる各般の施策をハード・ソフト両面にわたって多面的に推進し、川上・川下を始め市場関係者から高い評価を得ている。 <p>[別紙1、2参照]。 (主なハード整備等) ・LED照明取替工事 ・防犯カメラ増設 など</p> <p>(主なソフト事業) ・大学連携事業の推進(追手井、食育事業等) ・百貨店(大丸梅田店・京阪守口・住道店、松坂屋高槻店)における産地フェア、販促イベント ・川上・川下との連携 ・食育イベントの開催 ・メディアの活用による認知度のアップ など</p> <p>【提案額：70,000千円(抜)】 【事業計画：70,000千円(抜)】</p> <p>【事業実績・見込み(抜)】 (4-12月実績額) 36,532千円 (1-3月見込額) 37,315千円 (R1年度見込額) 73,847千円</p> <p>●市場設備のコールドチェーン化を推進する取組をしているか</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ これまで実施してきた有圧換気扇の増設、大屋根の整備、仲卸業者による未利用地での低温流通加工施設の整備、保冷施設整備のための電気容量増幅工事等に加え、新たに水産仲卸売場の低温化手法について専門家と具体的な検討を進め、平成30年12月に基本計画を策定した。今後、費用対効果も見極めながら、実施設計の策定等実現に向け引き続き関係先との協議を進める。 	<p>S</p>	<p>●市場の活性化を図るための取組みが計画に基づき実施されているか</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 民間企業のノウハウを発揮し、多面的な活性化事業を実施し、市場の活性化に取り組んでいる。 ▶ 一昨年度末から、場内に順次喫煙スペースを整備し、指定場所以外は場内完全禁煙とし、受動喫煙の防止及び生鮮食料品の安全安心の確保を図っている。「喫煙ルールの違反行為に対する取扱要綱」に基づき、場内事業者や警備員を「禁煙推進指導員」に委嘱し、巡回指導やルールの周知を積極的に行っている。 ▶ ソフト面では、百貨店や事業提携大学(追手門学院、大阪成蹊、梅花女子)及び府と連携したイベントを多数実施するなど、市場の認知度向上に向けた活動を行っている。 ▶ 活性化事業は、提案額70,000千円、事業計画額70,000千円を大幅に上回る見込み。 <p>●市場設備のコールドチェーン化を推進する取組をしているか</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 水産仲卸売場の全面的な低温化手法について、平成30年12月に基本計画を策定し、具体的な低温化手法を検討する段階にきている。今後、市場の将来のあり方検討と併せて、府及び場内事業者と協議する予定であり、着実に取組みを進めている。 <p>S</p>		

<p>(5) 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度</p>	<p>●点検・補修が適格かつ迅速に行われているか ●施設の維持管理のための改修工事を積極的に実施できているか</p>	<p>●点検・補修が適格かつ迅速に行われているか ●施設の維持管理のための改修工事を積極的に実施できているか</p>	<p>●点検・補修が適格かつ迅速に行われているか ▶ 設備の老朽化が顕著になり、市場機能に重大な支障を来すことが懸念されることからエレベータや消防設備等の法定点検はもとより、市場機能に支障を来さないよう主要設備について年間計画を定め、これに基づき計画的に保守点検を実施し、不具合が確認されれば、即刻修理を行うなど万全を期している。</p> <p>●施設の維持管理のための改修工事を積極的に実施できているか ▶ 市場機能を維持するため、提案額を大幅に上回る維持補修工事を実施している。 また、経営努力により捻出した財源を活用し、大阪府と協議しながら老朽化が進む施設・設備の維持補修工事を積極的に実施している。</p> <p>【提案額：60,000千円(抜)】 【事業計画：60,000千円(抜)】</p> <p>【事業実績・見込み(抜)】 (4-12月 実績) 149件、35,649千円 (1-3月 見込額) 33,780千円(抜) (R1年度見込額) 69,429千円(抜)</p> <p>▶ 民間のノウハウを活用し、大阪府が実施するよりも効率的、効果的な工事が期待できる修繕事業について大阪府の依頼に基づき事業を実施している。 【R1年度事業実績見込】 件数：1件 事業費：44,000千円(抜)</p>	<p>S</p>	<p>●点検・補修が適格かつ迅速に行われているか ▶ エレベータや消防設備等の法定点検だけでなく、計画的な保守点検及び迅速な修理を実施しており、市場機能に支障をきたさぬよう対応している。</p> <p>●施設の維持管理のための改修工事を積極的に実施できているか ▶ 収入の確保、コストの削減により捻出した財源を活用して、100万円を超える修繕事業についても積極的に実施している。 ▶ 維持補修事業は、提案額60,000千円、事業計画額60,000千円を大幅に上回る見込み。</p> <p>▶ 府が実施するよりも効率的かつ効果的な工事が期待できるものについては、積極的に指定管理者が実施している。 【事業実績見込(抜)】 ・冷蔵庫棟屋上冷凍冷蔵設備 44,000千円 (削減努力により計画時点から計▲2,991千円)</p>	<p>S</p>	
<p>(6) 府施策との整合</p>	<p>●府・公共事業協力等 ●行政の福祉化 ●府民、NPOとの共同 ●環境問題への取組み</p>	<p>●府・公共事業協力等 ●行政の福祉化 ●府民、NPOとの共同 ●環境問題への取組み</p>	<p>●府・公共事業協力等 ▶ 食育事業や食の安全・安心領域を中心に環境農林、広報広聴、保健衛生、商工労働等多くの行政分野で積極的に協力している。 ▶ 「大阪府健康づくりアワード」の機運を盛り上げるため、市場広報大使のゆるきゃらの「せりちゃん」を出演させるとともに、入賞者にインセンティブとして副賞を提供するなど積極的に協力・支援を行っている。 ▶ 「府政学習会」の一環として、市場施設を提供し、食育や食の安全・安心に関する学習の場を提供している。 ▶ 環境にやさしい燃料電池の導入に当たって電力売買契約の締結や燃料電池のPRに努めるなど全面的に協力している。 ▶ 災害に強い市場づくりの一環として、大阪府全庁に先駆け、非常用備蓄セット付きの飲料自販機を導入した。 ▶ 地元茨木市への市民の関心と理解を深めるため、市主催の「魅力発見ツアー」に場を提供するなど積極的に協力している。 ▶ 大阪府主催「大阪産(もん)大集合」における食育イベントに参加協力している。</p> <p>●行政の福祉化 ▶ 知的障がい者の就労支援として管理棟での清掃訓練を導入し、日常業務が円滑に実施できるよう訓練生の受入環境の整備に努めるなど積極的に支援・協力を行っている。こうした取り組みに対して支援団体やご家族からも非常に高い評価を得ている。</p>	<p>S</p>	<p>●府・公共事業協力等 ▶ 食育事業や食の安全・安心領域だけでなく、「大阪府健康づくりアワード」、「大阪産(もん)ブランド推進」等、多岐にわたる分野で行政に協力している。 ▶ 府が実施するイベント等での賞品提供など、積極的に協力・支援している。 ▶ 「府政学習会」や茨木市主催の「魅力発見ツアー」に協力し、市場施設を活用した、食育や食の安全・安心に関する学習の場を提供している。 ▶ 災害に強い市場づくりのため非常用備蓄セット(2日分の食料、携帯用トイレ等500セット)付きの飲料自販機を導入するなど、公の施設として重要な事業に積極的に取り組んでいる。</p> <p>●行政の福祉化 ▶ 「障がい者の就労支援」に協力し、精神障がい者も訓練対象とし管理棟における清掃訓練等を継続して実施している。 ▶ 清掃業務の受託事業者に対して障がい者雇用を働きかけ、引き続き2名の雇用を実現している。</p>	<p>S</p>	

		<p>▶ 平成 29 年度から知的障がい者に加え、精神障がい者も対象に訓練を受け入れている。</p> <p>▶ 清掃委託事業者に対して障がい者を雇用するよう要請し、2 名の知的障がい者の正規雇用が確保されている。</p> <p>▶ C-STEP と緊密に連携し、就職困難者の雇用・就労支援のあり方について提言・情報交換を行うなど協力している。</p> <p>●府民、NPOとの共同</p> <p>▶ 食育や料理教室の運営がより効果的に実施できるよう大学や市民間団体等と連携、協働して実施している。</p> <p>▶ 茨木市内 2 か所のこども食堂(「NPO 法人茨木こども食堂」、「ベンポスタこども食堂」とコラボし、食材の提供等を通じて食育活動や欠食・孤食問題の解消に協力している。</p> <p>●環境問題への取組み</p> <p>▶ 場内事業者への節電の啓発と併せ、市場内の照明設備についても LED 化を推進し、場内事業者に対しても LED に転換するよう働きかけている。</p> <p>【設置実績・見込み】(H24~30 年度実績)</p> <table border="1"> <tr> <td>(4-12 月 設置実績)</td> <td>506 台</td> </tr> <tr> <td>(1- 3 月 設置見込)</td> <td>482 台</td> </tr> <tr> <td>(R1 年度 設置見込)</td> <td>988 台(2,096 台)</td> </tr> </table> <p>▶ 場内で発生する廃棄物(一般廃棄物、青果くず、魚あら、廃棄パレット、廃プラパレット、汚泥)を削減するため、場内事業者への啓発を強化している。</p> <p>▶ 場外からの持ち込みごみを阻止するため、防犯カメラ等により持込業者を特定し、ケースに応じて警察へ通報するとともに処理業者を紹介するなど個別指導を行っている。</p> <p>【R1 年度設置台数】(H24~30 年度実績)</p> <p>8 台(135 台)</p> <p>▶ ごみ置場に鍵付きの門を設置するとともに利用時間を制限するなど効果的な措置を講じている。</p> <p>本年度は、青果側の廃棄パレット置場にゲートを新設した。</p> <p>▶ 廃棄物の分別を推進するため、分別用のごみ箱を設置するとともに場内事業者に対する啓発を強化している。</p> <p>▶ プラスチック製廃パレット、PP バンド、段ボール等については、これまで廃棄物として有料で処分をしていたものを再生利用するように転換し、売却益を確保している。</p> <p>【R1. 4-12 売却益：4,036,379 円】</p> <p>▶ 魚あらについても業者との交渉により 27 年 12 月から処理費用をゼロにし、引き続き継続させている。</p> <p>▶ この結果、R1 年 12 月末までの廃棄物(一般廃棄物・青果くず・魚あら・廃棄パレット・汚泥・粗大ごみ・その他産業廃棄物)の排出量は前年同期に比べ約 259 トン、5.5%削減することができたが、処理費用は、廃棄パレットの分別の徹底による処理費用の増嵩により約 156 万円、5.1%増加したものの、全体として低い水準が維持できている。</p> <p>▶ これらの取り組みは、茨木市事業系ごみ減量化推進懇話会においても評価されている。</p> <p>【廃棄物処理実績(4-12 月)】</p> <p>排出量：4,480.48 トン(前年同期比 5.5%減、H23 年度同期比 54.8%減)</p> <p>処理費：32,172 千円(前年同期比 5.1%増、H23 年度同期比 57.0%減)</p>	(4-12 月 設置実績)	506 台	(1- 3 月 設置見込)	482 台	(R1 年度 設置見込)	988 台(2,096 台)	<p>▶ C-STEP (おおさか人材雇用開発人権センター) と連携し、就職困難者の雇用・就労支援のあり方について提言・情報交換を行っている。</p> <p>▶ 以上のように、行政の福祉化に大きく貢献している。</p> <p>●府民、NPOとの共同</p> <p>▶ 大学や民間団体等と連携し、食に関する人材の育成や食の安全・安心、食育等に積極的に取り組んでいる。</p> <p>▶ 場内事業者の協力を得て、昨年度までの「NPO 法人茨木こども食堂」に加え、今年度からは「ベンポスタこども食堂」へも食材を提供し、欠食・孤食問題の解消に協力している。</p> <p>●環境問題への取組み</p> <p>▶ 市場内の照明器具の LED 化を進めるとともに、場内事業者に対しても事務所内の LED 化を働きかけている。</p> <p>▶ 分別用のごみ箱を設置するなど、場内事業者への啓発を行うことで、削減につなげている。</p> <p>▶ 防犯カメラ設置等による持込業者の特定・指導、ごみ置場への鍵付き門の設置、利用時間の制限など場内ルールの徹底に積極的に取り組み、引き続き処理費用の削減を図っている。</p> <p>▶ また、必要に応じて警察へ通報するとともに、廃棄物の排出量及び処理費用の削減、再生利用による売却益の確保に取り組んでおり、大きな成果を上げている。</p>	
(4-12 月 設置実績)	506 台									
(1- 3 月 設置見込)	482 台									
(R1 年度 設置見込)	988 台(2,096 台)									

II さらなるサービスの向上に関する項目	(1) 利用者満足度調査等	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者調査の実施及び結果のフィードバック 聞き取り調査 アンケート調査 など 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 毎月定例開催の場内市場関係者のトップで構成される「常駐代表者会議」において、管理センターの事業の取組状況について報告するとともに今後の業務運営方針の審議を通じて場内事業者の意見・要望・提言の把握を行い、事業に反映させるなど市場関係者が一体となって管理運営業務に当たっている。【再掲】 ▶ 日常的に青果・水産仲卸組合の役員との情報交換を行うとともに理事会等に参画し、意見を聴取している。 ▶ 施設設備に異常がないかどうかを点検するため社員が毎日場内をラウンドしているが、その都度、各店舗に出向き、場内事業者から直接、要望やニーズを把握し、現場の生の声を管理運営業務に反映させている。 ▶ 市場開放デー（R1.11.12開催）（560枚配布：回収率100.0%）や市場見学会においても、来場者のアンケート調査を実施し、寄せられた意見・提言を市場運営にフィードバックさせている。 ▶ 24時間市場関係者と接触する機会が多い警備員を通じて市場ユーザーの声を聴取するよう努めている。 ▶ ホームページにおいてご意見欄を設け、府民の声を管理運営業務に反映させている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 毎月開催される「常駐代表者会議」において、事業の実績と今後の取組予定を報告、場内事業者からの要望等の把握に努め、管理運営業務に反映させている。 ▶ 日常的な場内ラウンド中に場内事業者との情報交換を積極的に行うとともに、組合の理事会等にも参加することで、各店舗の要望やニーズを把握し、現場の生の声を管理運営業務に反映させている。 ▶ 来場者等へのアンケート調査で寄せられた意見・提言を管理運営業務に反映している。 ▶ 警備員への聞き取りや、ホームページ内での問い合わせフォームの設置など、場内事業者だけでなく府民のニーズを把握し管理運営業務に反映する体制を整えている。 ▶ S評価に向けた今後の取り組みとして、産地から強い要望がなされている産地直送トラックの荷下ろし、待ち時間の効率化を図るため、青果側場内外周道路の導線の変更等により、そのスペースの確保など、実現に向けて引き続き取り組んでいきたい。 	A
	(2) その他創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●サービス向上につながる取組み、創意工夫が行われているか 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 施設設備等の不具合が発生した場合、すばやく現場に駆けつけ、即日に社員又は専門業者が修理に着手し、市場業務に支障が出ないように常にスピード感をもって臨機応変の対応を行っている。 ▶ 買出人駐車場の秩序維持を図り、顧客である買出人の利便性の向上を図るため、早朝にラウンドを行い、場内事業者の排除を行っている。 ▶ 場内事業者の就業時間に沿ったサービスの提供ができるよう、平日の営業時間を午前8時から午後5時まで延長している。 	S	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 施設等の不具合に際して、速やかに現場に駆けつけ、即日修理に着手するなど、市場業務に支障がないようスピード感をもって臨機応変に対応している。 ▶ 早朝に場内の見回りを行い、場内事業者の車を買出人用駐車場から退去するよう指導するなど、顧客である買出人の利便性の向上に努めている。 ▶ 営業時間を午前8時から午後5時まで延長し、場内事業者の就業時間に合わせたサービス提供に努めている。 	S
III 適正な管理業務の遂行を図ることができ る能力及び財政基盤に関する事項	(1) 収支計画の内容、適格性及び実現の程度	<ul style="list-style-type: none"> ●事業収支は計画と比べて妥当か 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 事業収支は概ね計画どおり推移し、収支均衡の取れた黒字基調で推移している。 ▶ 府への納付金は契約どおり遅滞なく納付している。 	S	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 第3四半期までの収支状況は、概ね計画通り推移している。 ▶ 納付金Iは納付期限内に納付されている。 	S
	(2) 安定的な運営が可能となる人的能力	<ul style="list-style-type: none"> ●事業実施に必要な人員が確保され、また配置されているか ●職員の指導育成、研修体制は整備されているか ●職員の管理体制が整備され、監督責任が果たされているか 	<ul style="list-style-type: none"> ●事業実施に必要な人員が確保され、また配置されているか ▶ 市場の管理運営業務は複雑で広範多岐にわたり、また、折衝の相手も市場のプロであることから困難を極めるが、管理センターでは正社員5名、嘱託社員2名という少数の社員で管理運営業務を担っているものの、各社員は業務に関連する様々な資格を有する優秀な人材であり、モチベーションも高く業務は遅滞なくスピーディに処理されており、現場の市場関係者からも非常に高い評価を得ている。 ▶ 7名という少数の組織体制のもとで、各人の所掌事務を固定してしまうと効率的な対応ができないため、各社員の所掌事務は原則として固定せず、日々の状況に応じてどのような業務でも臨機応変に熟せるオールラウンドプレイヤーとして研鑽し、管理運営業務に当たっているが、特に問題なく円滑に処理されている。 <ul style="list-style-type: none"> ●職員の指導育成、研修体制は整備されているか ▶ 人権問題啓発に関しては、茨木市人企連及び大阪府公正採用人権啓発推進センターに参画し、人権啓発推進員を中心にCSRの取り組み 	S	<ul style="list-style-type: none"> ●事業実施に必要な人員が確保され、また配置されているか ▶ 広範多岐にわたる業務に対し必要な人員を配置するとともに、各人のスキルを最大限発揮することにより、業務は遅滞なく円滑に行われている。 <ul style="list-style-type: none"> ●職員の指導育成、研修体制は整備されているか ▶ 社員の研修への参加や資格の取得など、業務遂行に必要な知識・技術を習得させる体制整備に努 	S

		<p>を強化するとともに、全社員の人権意識を高めるため人権研修を積極的に受講させ、労務管理、経理研修等も積極的に参加させている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 業務遂行に必要とされる防火・防災管理者やフォークリフト等の資格取得についても社費で研修費を補助し、積極的に取得させている。今後とも施設設備の管理に必要とされるより高度専門的な資格も積極的に取得させる。 ▶ 業務に関連する自己啓発のための研修についても研修費用の一部を補助することによりインセンティブを与え積極的に参加させている。 <p>●職員の管理体制が整備され、監督責任が果たされているか</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 事務統括社員は、毎日、早朝に社長等との業務の打ち合わせを行い、この場で会社の運営方針を決定、確認し、一般社員に対してはミーティングを開催することにより情報の伝達、共有、意見交換を行っており、業務は円滑に遂行されている。 		<p>めている。</p> <p>●職員の管理体制が整備され、監督責任が果たされているか</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 各社員に業務方針を徹底するため情報の伝達・共有に努めるなど、職員の管理体制、監督責任は十分に果たされている。 					
(3) 安定的な運営が可能となる財政的基盤	<p>●経営規模、事業規模、組織規模等は十分か</p> <p>●財務状況は適正か</p>	<p>●経営規模、事業規模、組織規模等は十分か</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 日常業務は社員間の業務量が平準化され、過重労働もなく処理されており、経営規模、事業規模、組織規模も妥当である。 <p>●財務状況は適正か</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 利用料金の滞納ゼロ、インゴット売却等の収入の確保、委託料や人件費の抑制等によるコストの大幅な削減等の経営努力により、第3四半期における営業利益は5,571千円、経常利益は59,818千円を計上するなど財務状況は極めて安定している。 ▶ 会社運営に必要な内部留保金も適正な額を確保し、期末利益剰余金は132,301千円となり、円滑な業務遂行を行っていく上での財政、経営基盤は安定している。 ▶ 税務調査及び過去2回実施された大阪府監査においても業務・財務内容に関する問題は指摘されておらず、すべて是認されている。 	S	<p>●経営規模、事業規模、組織規模等は十分か</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 日常業務等は、ほぼ所定労働時間内に滞りなく処理されており、経営規模、事業規模、組織規模は妥当である。 <p>●財務状況は適正か</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 滞納ゼロやコストの削減に努めることで、財源を確保し、その財源を市場活性化事業、施設の修繕に投資・還元することで市場の活性化に大きく貢献している。 <p>・事業実績見込額(抜) 【再掲】</p> <table border="0"> <tr> <td>市場活性化事業</td> <td>73,847千円</td> </tr> <tr> <td>維持補修事業</td> <td>69,429千円</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 経営基盤は安定していることから、財務状況は適切と言える。なお、平成29年11月20、21日に実施された、府監査委員事務局による財政援助団体等監査において、公認会計士の監査を受検した結果、財務内容に関する問題は指摘されていない。 	市場活性化事業	73,847千円	維持補修事業	69,429千円	S
市場活性化事業	73,847千円								
維持補修事業	69,429千円								

市場活性化事業の取り組み状況(R1.4-12)

【別紙1】

ジャンル	取組みの方向	具体的事業	実績				R1年度当初事業計画			備考	
			実施内容	事業費(円:税抜)	進捗率(%)	効果	事業費	目標	実施時期		
魅力ある市場づくり	建替えを含む市場施設の再整備	整備に向けた構想素案の策定	整備構想素案の策定に当たってのコンサルへの委託業務	0	0.0	競争力の強化 集荷・販売力の強化	1,000万円		下半期	R1.11.21契約締結(2,490,000円)	
	安全・安心・清潔な市場づくり	美化キャンペーンの啓発	美化キャンペーン啓発ポスターの活用等		—	—	清潔な市場づくり 市場のイメージアップ	—		通年	
		大掃除の充実	場内関係者の参加拡大による場内一斉大掃除の充実(6/7,9/18,11/8)		—	66.7	清潔な市場づくり 市場のイメージアップ 場内業者の意識改革 場内ごみの減少	—		通年	
			仲卸店舗屋根の清掃		—	0.0	清潔な市場づくり 市場のイメージアップ	1,500万円		下半期	見積作成中
		不法投棄の防止	○ごみ置き場付近における監視・巡回活動の強化 ○防犯カメラによる監視強化(361台設置,6,382,500円)(機械装置) ○不法投棄者への個別指導(廃棄物処理業者の紹介) ○警察への告発 ○啓発看板の設置(109,000円)(什器備品) ○不法持ち込み禁止等看板の設置(473,000円) ○青果Cごみ置場ゲートの設置(670,000円)	473,000(活性化対策費) 6,382,500(機械装置) 109,000(什器備品) 670,000(建物付属設備)		皆増	清潔な市場づくり 場内ごみの減少 市場のイメージアップ	—		通年	
		ごみの分別の徹底	○分別用ごみ箱の利用促進	—	—	—	—				
		禁煙対策の徹底	○禁煙啓発ポスターによる啓発 ○禁煙指導員のラウンドによる啓発指導 ○喫煙ルール違反者に対する措置(通告・警告・行政処分) ○喫煙ボックスの修繕費(631,760円)(修繕費) ○フィルター交換費(191,760円) ○煙監視センサー設置費(2個,50,000)	241,760(活性化対策費) 631,760(修繕費)		174.7	清潔な市場づくり 市場のイメージアップ 場内業者の意識改革	50万円		通年	
		カラス防除	○捕獲員によるカラス捕獲(9回,43羽) ○新たな捕獲手法の検討 ○バードプロテクター購入費(500本)	5,000,000		21.5 (捕獲数)	清潔な市場づくり 食の安心・安全の確保	40万円	捕獲15回 200羽	通年	
		そ族(クマネズミ)等駆除	トラップ等による捕獲	—	—	—	—	—			
		場内路上駐車解消	○ガードレール、ポールコーン等の設置による不法駐車 の排除(カラーコーン200本) ○路上での荷捌き等の是正指導の強化 ○駐車スペースの整備(水産大通西出入口付近) ○駐輪場指定看板設置(4枚)	3,237,500		323.8	場内交通秩序の維持 交通安全の確保	100万円		通年	
		防犯対策の強化	○夜間防犯パトロールの強化 ○防犯カメラによる監視の強化、警察への告発 ○場内東側外周フェンスの改修	6,382,500(機械装置)[再掲] 2,256,000(構築物)		—	不法投棄の防止 窃盗の防止	—		通年	
	コールドチェーン化の推進	水産仲卸売場の低温化 ○基本計画→設計業務の検討	0	0.0	取扱量の拡大 食の安心・安全の確保 市場のイメージアップ	1,300万円				H30.12基本計画策定 実施設計は府の検討結果待ち	
	荷捌きスペース等の確保	青果商品置場、荷捌場の整備	既存施設、車両導線の見直し等によるスペースの確保検討	—	—	取扱量の拡大 食の安心・安全の確保 市場のイメージアップ	—		通年		
	スマート市場づくり	節電促進及びキャンペーン	キャンペーンポスターによる啓発強化	—	—	節電による管理コストの節減	—		通年		
既存照明のLEDへの転換		場内共用区域における既存照明のLED化の推進 ○仲卸棟大屋根(6,300,000円) ○仲卸棟買荷保管積込所(3,400,000円) ○水産大通り(4,520,000円)	14,220,000		56.9	節電 スマート市場づくり	2,500万円		下半期		
川上との連携	産地との連携	産地勉強会、意見交換会の開催	徳島県「鯉」勉強会小松島漁港視察：追手門学院大学(6/19) JA全農岐阜県本部及びFIA飛騨との意見交換会(R2年度事業計画)	145,000(賃借料)		皆増	取扱量の拡大 集荷力の強化 市場の知名度アップ	—	—	—	新規
		産地の青果物販促キャンペーン	熊本県JA八代「はちべえトマト」PRキャンペーン [追手門学院大学学食](4/12,4/23)	6,000		皆増		—	—	—	新規、R2.1.16-17実施予定
		食育教室の開催	幼稚園での食育 ・徳島県JA大津松茂さつまいもの定植(5/20)、収穫祭(10/28)	—		—		—	—	—	新規、JA徳島・北果の協力

ジャンル	取組みの方向	具体的事業	実績				R1年度当初事業計画			備考		
			実施内容	事業費(円:税抜)	進捗率(%)	効果	事業費	目標	実施時期			
川下との連携	量販店での販促、市場PR	量販店での販促イベント	○「ゆるきゃらせりちゃん」を活用した量販店での販促 ○イベントの活性化(子供向けイベント等)	0	0.0	・消費者への市場機能のPR ・食育の啓発、推進	10万円		通年			
	百貨店での販促、市場PR	近鉄百貨店奈良店での販促イベント	事業連携大学とのコラボによる食育、魚食普及の推進	0	0.0		10万円			店舗の都合により中止		
		阪神百貨店での魚食普及フェア	事業連携大学とのコラボによる食育、魚食普及の推進	0	0.0		10万円		下半期	阪神百貨店建替に伴う売場縮小のため大学との連携は中止		
		京阪百貨店での販促イベント	事業連携大学(追手門学院大学)とタイアップした食育フェスタの開催(5/26)	99,471	99.5		10万円					
		松坂屋高槻店での販促イベント	事業連携大学とタイアップした販促の推進 ・長崎フェア:追手門学院大学(5/8,5/11)(27,778円) ・マグロメニュー開発プロジェクト:梅花女子大学(5/14)(13,399円) ・鳥取フェア:梅花女子大学(6/15,10/16,10/19)(32,728円) ・徳島フェア:追手門学院大学(6/26,6/29,6/30,10/16,19)(110,506円) ・秋の食品祭:追手門学院大学(9/14)(22,223円) ・島根青果フェア:追手門学院大学(7/20,7/21)(44,445円) ・大阪産4フェア:追手門学院大学(10/25)(27,273円) ・徳島フェア(すだちくん、徳島タイズ)(23,319円)	268,943	268.9		10万円		上半期			
		大丸梅田店・心齋橋店等での販促イベント	事業連携大学とタイアップした販促の推進 ・恵方巻開発プロジェクト食材費:梅花女子大学(8/6)	23,400	皆増		—		—			
情報発信機能の強化	料理教室等の開催	料理教室の開催	お魚料理教室の開催 ・茨木市・夏休みこどもクッキング・お魚料理教室の開催 ・地域単位でのお魚教室の開催	回数(回)	2	50.0	10万円	4回/年	通年	水産物卸協同組合と連携		
				事業費(円)	—	—						
	市場見学会の充実	小学生向け見学会の開催	○見学会の実施 ○近隣市教委への働きかけ	校数	27	108.0	110万円	2,300	通年	消費者への市場機能のPR ・食育の推進 ・魚・野菜の消費拡大		
				人数	2,488	108.2						
				事業費(円)	870,800(活性化対策費) 462,199(報償費) 317,427(委託料)	150.0						
				団体数	18	150.0						
		一般見学会の開催	○見学会の実施 ○ホームページによる広報	人数	288	96.0						
				事業費(円)	49,550	50.0					10万円	
	広報活動の強化	業界紙との連携	イベント等特集記事、広告掲載 農経新聞、食品市場新聞、水産経済新聞、 中央市場新聞、みなど新聞、食糧経済新聞	50,000	10.0	50万円	—	通年	府市場の知名度のアップ ・市場機能、イベントのPR			
		マスメディアへの資料提供	活性化事業、イベント行事等の資料提供	—	—							
		ホームページの充実	市場日報、イベント情報をリアルタイムにアップ	0	0.0					20万円		
		見学しおりの改訂・作成	見学しおりの改訂 ・子ども用しおり改訂(3,000部) ・一般用増刷(100部) ・子ども用リーフレット増刷(3,000枚)	205,297	406.7 (部数)					20万円	1,500部	上半期
				—	36.7 (回数)					—	30回	通年
		「せりちゃん」の活用	ノベルティを作成し、イベント、販促等に活用 ・ポケットティッシュ(6,000個) ・ステッカーシート(2,000枚) 大阪府主催イベントへの支援、協力	162,000	27.0					60万円		通年
0				0.0	10万円						通年	
管理棟1階展示ホールの充実	展示ホール展示品等の更新(市場説明パネル)	145,000(什器備品)	72.5	20万円		上半期						
市場開放デーの充実	各種イベントの充実	広報の充実、強化 (ラジオ放送告知、コミュニティ誌、ケーブルテレビ)	200,000	40.0	50万円		8月~11月					
		緑日等子供向けイベント、模擬せりの開催の開催	101,266	101.3	10万円		11月					
		事業連携大学生の協力・参加	50,000	50.0	10万円		11月					
		高等学校プラスバンドの演奏	0	0.0	20万円		11月	市場協会が負担				
小売・量販店の広報支援	・市場のぼりの制作提供 ・販促グッズの制作 ・取引店への提供	市場ゆるきゃらを活用したノベルティ等の制作、提供(再掲)	162,000[再掲]	—	(60万円)		5月	府市場のPR ・取引の拡大				

ジャンル	取組みの方向	具体的事業	実績				R1年度当初事業計画			備考
			実施内容	事業費(円:税抜)	進捗率(%)	効果	事業費	目標	実施時期	
情報発信機能の強化	食に関する情報発信	梅花女子大学との連携	○食育の実施、量販店等へのレシピ提供(産地との連携) ・マグロメニュー開発プロジェクト(魚組松坂屋高槻)(5/14)[再掲] ○オープンキャンパスへの協力 ○恵方巻開発プロジェクト(大丸百貨店梅田店、大水直売)[再掲]	36,799[再掲]	—	府市場の知名度のアップ、 ・市場機能のPR ・食育の推進	10万円		通年	
		追手門学院大学との連携	○学食での産地キャンペーン ・熊本県JA八代「はちべえトマト」PRキャンペーン(4/23) [再掲](6,000円) ○食育フェスタの開催(京阪百貨店)(5/26)[再掲](99,471円) ○産地フェアの開催(松坂屋高槻店) ・長崎フェア(5/8,5/11)[再掲](27,778円) ・徳島フェア(6/26,6/29,6/30,10/16-22)[再掲](110,506円) ・島根青果フェア(7/20,7/21)[再掲](44,445円) ・秋の食品展(9/11-17)[再掲](22,223円) ・大阪産フェア(10/2-8)[再掲](27,273円) ○市場開放デー「食育コーナー」への参加(11/10)[再掲](101,266円) ○「追手井」の普及促進(食材費等)(8/17-18,10/23-24) ○文化祭(將軍山祭)への協力(11/2-3) ○徳島県「鮭」勉強会小松島漁港視察(6/19)[再掲]	111,447 438,962[再掲]	37.1		30万円		通年	
		大阪成蹊大学との連携	量販店等へのレシピ提供、食育等の実施(産地との連携)	0	0.0		5万円		通年	
		立命館大学との連携	健康キャンパスプロジェクト食材費	4,300	皆増		—	—	—	
		こども食堂との連携、協力	子ども食堂(2か所)への食材支援等 ・ペンボスタ子ども食堂 9回実施(4/6,4/27,6/1,7/5,8/3,9/7,10/5,11/2,12/7) ・茨木子ども食堂 1回実施(6/18)	37,897	25.3		15万円		通年	
	市場内への外部活力の導入	新たな消費者ニーズの取り込み	大阪府中央卸売市場ネットショップの充実	—	—		—		通年	
指定管理者制度の活用	民間の創意の充実	入居者募集の営業活動	新たな店舗の誘致	—	—	・活性化向上 ・入居率のアップ	—	随時	通年	新規開業(診療所・薬局・鍼灸院)
		売上高割利用料金の減額	3.0/1,000→2.5/1,000			・卸会社の集荷・販売のインセンティブ				
合計				(活性化対策費) 25,412,631円 (報償費) 462,199円 (委託料) 317,427円 (修繕費) 631,760円 (賃借料) 145,000円 (建物付属設備) 670,000円 (構築物) 2,256,000円 (機械装置) 6,382,500円 (什器備品) 254,000円 活性化事業費合計 36,531,517円	52.2		7,000万円			

大学等連携事業実施状況

【別紙2】

大学名	事業内容	実施日	産地・企業等	備考
大阪成蹊大学・短期大学	らっきょうの「漬ける」をテーマにした食育授業	5月30日	鳥取県、JA全農とっとり、北果	
追手門学院大学	松坂屋高槻店長崎・熊本フェア店頭プロモーション	5月8日	松坂屋高槻、JA熊本経済連、JA全農ながさき	
		5月11日		
	京阪百貨店守口店「食育フェスタ」模擬セリ、食育わなげ 徳島県活ハモ視察研修会	5月26日	京阪百貨店守口、和歌山県農協、田辺市農林水産部、鳥取県、北果	
		6月19日		
	松坂屋高槻店うまいんじょ徳島フェア店頭プロモーション	6月26日	松坂屋高槻、徳島県、JA全農とくしま	
		6月29日		
		6月30日		
	松坂屋高槻店「鳥根青果フェア」店頭プロモーション	7月20日	鳥根県、JALまね西いわみ、大果	
		7月21日		
	追手井	8月17,18日		
		10月23,24日		
	松坂屋高槻店秋の食品祭店頭プロモーション	9月14日	松坂屋高槻	
	松坂屋高槻店大阪産フェア店頭プロモーション	10月5日	松坂屋高槻、大阪府	
松坂屋高槻店うまいんじょ徳島フェア店頭プロモーション	10月16日	松坂屋高槻、徳島県、JA全農とくしま		
	10月19日			
将軍山祭オリジナルメニュー販売	11月2,3日			
市場開放デー 食育コーナー等	11月10日			
梅花女子大学	松坂屋高槻店「鳥取フェア」レシピ開発	6月15日	松坂屋高槻、うお組	
	高知県食育授業	1月14日	高知県、JA高知安芸地区、北果	
	徳島県食育授業	1月15日	徳島県、JA全農とくしま、北果	
	オリジナル恵方巻店頭プロモーション	2月3日	大水直売	
その他	さつまいも定植、収穫祭(旭学園第二幼稚園)	5月20日	JA大津松茂、北果	
		10月28日		